

令和4年度

東日本大震災アーカイブシンポジウム —震災記録を次世代につなぐ—

2023年1月9日（月曜・祝日）
午後1時～4時（開場：12時30分）
《ハイブリッド開催》

会場参加**90**名・オンライン参加**300**名
（先着申し込み順、要事前登録）
※オンラインLIVE配信（Zoom使用）

参加
無料

プログラムの内容

今、アーカイブや組織を構築する意義と取り組みについて、
震災アーカイブを現在構築中の**岩手県宮古市**と
教訓の継承を担う**復興庁復興知見班**（2021年4月新設）からご報告します。

国立国会図書館からはひなぎく（国立国会図書館東日本大震災アーカイブ）
構築の経緯と現在の展開を、**東北大学災害科学国際研究所**からは
みちのく震録伝の活動を振り返ります。

会場：東北大学災害科学国際研究所
1F 多目的ホール
（仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）



仙台市営地下鉄東西線「青葉山駅」
※南1出口から徒歩約3分
※「仙台駅」から5駅、9分

申込・参加方法

「みちのく震録伝」のシンポジウム案内にある「参加申込みフォーム」から
お申込みください。※定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」（右のQRコードからもアクセスできます）
<https://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>



問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野
電話 022-752-2099 メールアドレス archiveforum@irides.tohoku.ac.jp



主催：東北大学災害科学国際研究所・国立国会図書館
後援：デジタルアーカイブ学会